

発行所
カトリック長崎大司教区 広報委員会

発行人
中 田 輝 次

〒852-8113 長崎市上野町10-34

カトリックセンター内

TEL 0 9 5 (8 4 3) 3 8 6 9

FAX 0 9 5 (8 4 3) 3 4 1 7

郵便振替番号 01880-5-2699

カトリック長崎大司教区ホームページ

http://www.nagasaki.catholic.jp

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY

カトリック長崎大司教区報

7月・教皇さまの意向のために祈りましょう

① 一般の意向：他者の感受性を大切にする

② 布教の意向：洗礼を受けた人はみな 社会の 変革に取り組む人たち

③ 日本教会の意向：差別のない社会をめざして

2004年度 教区経常収支決算報告

大司教区の2004年度の経常収支決算が6月6日、教区顧問会で以下のとおり承認された。その中で、教区会計の山内実師は、今後の長崎教区の課題を見据えて2つの資料を提出した。

一つは、各小教区による教区費の負担額の推移（3年間）を示したものの。これによると、前年度よりも、約600万円目減りしていることが明らかとなった。もう一つは、各小教区の維持費の一覧表である。いずれの資料も、各司祭には黙想会の折に配布された。

高見大司教は黙想会の講話の中で、教区費の目減りについては、今後も信徒の皆さまを始め、主任神父さまのより一層の努力と協力をお願いしたい旨とできるだけ早く各小教区間の経済負担の不公平さを是正したいと話された。

収 入		科 目		金 額	
科 目	金 額				
教 区 費	147,886,854	2) 神 学 校 費		126,584,650	
神学生養成援助費	14,662,735	大神学校費		49,230,985	
教 区 費 (司 祭)	13,405,000	長崎コレジオ		34,481,885	
ビ ナ チ オ	991,000	小神学校費		42,871,780	
補 助 金	215,820	3) 負 担 金		8,959,222	
献 金 繰 入	8,514,232	中央協議会		6,730,000	
受 取 利 息	18,773	聖 地 献 金		200,000	
特 別 献 金	19,826,200	宣教地災害援助		600,000	
保存委員会補填	42,300,000	使徒座献金		829,222	
経常運転資金繰入	23,793,642	心のともしび		600,000	
小神学院分担金	6,508,238	4) 育 成 費		6,152,053	
雑 収 入	200,825	黙想研修費		4,299,553	
前年度繰越金	32,871,597	叙階祝賀費		1,852,500	
収入総計	311,194,916	5) 厚 生 費		5,574,114	
		医 療 費		2,891,656	
		年 金		2,682,458	
		6) 補 助 金		16,262,400	
		小 教 区		2,462,400	
		司 祭 補 助		13,800,000	
		7) 教区祭儀費		224,261	
		8) 不動産管理費		955,850	
		9) 大司教館維持費		41,600,000	
		10) センター維持費		32,000,000	
		11) 事 務 費		7,571,705	
		消 耗 品 費		938,608	
		旅費交通費		319,840	
		通 信 費		387,101	
		租 税 公 課		2,227,160	
		交 際 費		636,000	
		支 払 手 数 料		1,272,000	
		雑 費		1,790,996	
		12) 予 備 費		0	
		13) 次年度繰越金		23,986,661	
		支出総計		311,194,916	

支 出	
科 目	金 額
1) 宗教活動費	41,324,000
本部事務室	15,600,000
宣教委員会	1,449,000
生涯養成委員会	7,500,000
信仰教育委員会	2,800,000
典礼委員会	400,000
財務委員会	0
広報委員会	7,400,000
家庭委員会	3,065,000
召命委員会	300,000
青少年委員会	600,000
福祉委員会	800,000
諸宗教委員会	430,000
法務事務所	980,000

地区別教区費納入金・小教区維持費と月平均					
地区	項目	戸 数	信 徒 数	教 区 費	小教区維持費
長 崎		10,985 (11,079)	38,825 (39,390)	77,588,673 (82,798,555)	232,083,875
佐世保		3,115 (3,077)	10,968 (10,938)	25,396,040 (25,202,580)	71,300,600
平 戸		1,468 (1,482)	5,749 (5,818)	11,873,773 (12,982,506)	31,070,947
上五島		1,916 (1,925)	6,465 (6,549)	18,183,062 (18,355,058)	49,286,841
下五島		1,282 (1,286)	3,757 (3,855)	9,445,306 (9,576,975)	31,521,300
諸 会				5,400,000 (5,400,000)	
合 計		18,766 (18,849)	65,764 (66,550)	147,886,854 (154,315,674)	415,263,563

特 別 献 金							
地区	項目	広報献金	聖ペトロ献金	世界難民移住移動者献金	世界宣教の日献金	宣教地司祭育成の日献金	児童福祉献金
長 崎		1,421,514	1,698,627	1,698,648	1,512,695	1,595,566	1,650,534
佐世保		514,684	500,299	535,273	529,041	547,152	591,174
平 戸		243,430	250,638	249,857	257,630	276,095	245,917
上五島		243,810	264,362	287,135	277,480	266,082	298,376
下五島		229,580	252,330	245,770	247,220	240,340	259,127
諸 会		149,000	5,517,705	157,300	255,900	272,000	2,623,506
合 計		2,802,018	8,483,961	3,173,983	3,079,966	3,197,235	5,668,634

全世界の教会の舵取りをする新教皇ベネディクト16世が選ばれて2ヵ月になるとうとしています。これから各教会で、新教皇を身近に感じる取り組みが必要になってくるでしょう。前教皇の時は、「あの日の雪はすごかった」が親しみを感じる言葉のようになっていました。このたびの新教皇はどのようにして世界中の信徒の心に入っているのでしょうか。あまり褒められた話ではありませんが、ミサをささげる司祭も新教皇を受け入れるように懸命に努力しているところなのです。「世界に広がるあなたの教会を思い起こし、わたしたちの神父○○○○世・・・」。ミサの度に言い間違えや言い直しが生じていることでしょうか。無理はありません。教区司祭の半分は前教皇の名前しかミサの中で唱えなかったことがないので、ミサの儀式に新教皇の名前を貼って読み上げておられるという念入りの先輩方もいらっしゃるでしょうが、記憶力に過信していると「わたしたちの神父ヨハネ・パ・・・ベネディクト16世」と、うっかり間違えてしまうのです。▼ちなみに小生は、間違える回数がようやく週1回程に減りました。完全に頭が切り替わるまで、もう少しかかるかも知れませんが、主の祈りが文語体から口語体に切り替わった時、しばらくは「天にまします、わたしたちの父よ・・・」と、こともなげに唱えていたのですから。(N)



- 5日
- ▼午前7時、カトリックセンター発、高見大司教と共に長崎から広島へ巡礼。広島で平和を願い祈る。(6日帰着)
- 8日
- ▼午後7時、原爆落下中心地にて長崎県宗教者懇話会主催「慰霊祭」
- 9日
- ▼午前8時30分、純心中・高校聖堂でミサ後、「純心高女殉難者慰霊祭」
- ▼午前10時30分、浦上教会、被爆マリア像チャペル献堂式、死没者銘板の除幕式・祝別
- ▼午後7時30分、平和祈願祭第1部「たいまつ行列・出発式」浦上教会(浦上信徒100人)、教会下天主公園(他の全教会信徒)の信徒と合流し平和公園へ。8時から平和公園で第2部「平和祈願ミサ」(9時15分終了予定、雨天の場合は大司教館内体育館)
- ▼午後7時30分～被爆60年「平和巡礼2005」(浦上教会、NHK)、指揮佐渡裕、独唱佐藤しのぶ、ゲスト吉永小百合(原爆詩朗読)ほか。
- ▼イスラエル・パレスチナ・日本・平和をつくる子ども交流プロジェクト(7～11日)、市長・大司教表敬訪問、原爆資料館・原爆遺構見学、「平和の灯」、長崎県宗教者懇話会「慰霊祭」参加ほか。

佐世保地区聖体大会

『私の記念としてこのように行いなさい』というテーマで行われた講演の中で、白浜神父はイエスが食べ物として与えてくださった聖体の秘跡の深い意味について私たちが

昨年からは始まった聖体年にあたり、佐世保地区では去る6月5日(日)福岡サン・スルピス大司教の白浜満神父(写真左)と高見大司教を迎えて聖体大会(写真下)が行われた。

が普段行う食事と関連づけながら分かりやすく説明し、私たちも復活したキリストの生命である聖体の恵みに生かされ強められてキリストに似た者となり、聖体に示される神の愛に愛をもって応え

ほしむぎ

世界中の教会の舵取りをする新教皇ベネディクト16世が選ばれて2ヵ月になるとうとしています。これから各教会で、新教皇を身近に感じる取り組みが必要になってくるでしょう。前教皇の時は、「あの日の雪はすごかった」が親しみを感じる言葉のようになっていました。このたびの新教皇はどのようにして世界中の信徒の心に入っているのでしょうか。あまり褒められた話ではありませんが、ミサをささげる司祭も新教皇を受け入れるように懸命に努力しているところなのです。「世界に広がるあなたの教会を思い起こし、わたしたちの神父○○○○世・・・」。ミサの度に言い間違えや言い直しが生じていることでしょうか。無理はありません。教区司祭の半分は前教皇の名前しかミサの中で唱えなかったことがないので、ミサの儀式に新教皇の名前を貼って読み上げておられるという念入りの先輩方もいらっしゃるでしょうが、記憶力に過信していると「わたしたちの神父ヨハネ・パ・・・ベネディクト16世」と、うっかり間違えてしまうのです。▼ちなみに小生は、間違える回数がようやく週1回程に減りました。完全に頭が切り替わるまで、もう少しかかるかも知れませんが、主の祈りが文語体から口語体に切り替わった時、しばらくは「天にまします、わたしたちの父よ・・・」と、こともなげに唱えていたのですから。(N)

世界中の教会の舵取りをする新教皇ベネディクト16世が選ばれて2ヵ月になるとうとしています。これから各教会で、新教皇を身近に感じる取り組みが必要になってくるでしょう。前教皇の時は、「あの日の雪はすごかった」が親しみを感じる言葉のようになっていました。このたびの新教皇はどのようにして世界中の信徒の心に入っているのでしょうか。あまり褒められた話ではありませんが、ミサをささげる司祭も新教皇を受け入れるように懸命に努力しているところなのです。「世界に広がるあなたの教会を思い起こし、わたしたちの神父○○○○世・・・」。ミサの度に言い間違えや言い直しが生じていることでしょうか。無理はありません。教区司祭の半分は前教皇の名前しかミサの中で唱えなかったことがないので、ミサの儀式に新教皇の名前を貼って読み上げておられるという念入りの先輩方もいらっしゃるでしょうが、記憶力に過信していると「わたしたちの神父ヨハネ・パ・・・ベネディクト16世」と、うっかり間違えてしまうのです。▼ちなみに小生は、間違える回数がようやく週1回程に減りました。完全に頭が切り替わるまで、もう少しかかるかも知れませんが、主の祈りが文語体から口語体に切り替わった時、しばらくは「天にまします、わたしたちの父よ・・・」と、こともなげに唱えていたのですから。(N)

聖体の年に想う

廣田 義雄 (三浦町教会信徒)

前教皇ヨハネ・パウロ2世は、使徒的書簡「主よ、一緒にお泊りください」を発表し、大聖年からロザリオの年を経て、教会の歩むべき道の頂点として「聖体の年」を制定された。今では同教皇さまの遺言として全世界の信者たちは受け止め、聖体の神秘の再現であるミサの重要性を強調されておられるのを拝受している。その背景には全世界の教会において日曜ミサがなおざりにされている悲しい現実があることが推測される。

長崎教区でも信徒使徒職評議会が中心になって全小教区を対象に日曜ミサ参加状況を調査したが、その結果は嘆かわしいものであり、特に都会地の教会比率が低く、また次代の教会を背負う若年層の対策に苦慮している。今である。

私は戦前に子供の頃を過ごしたが、カトリック信者として日曜のミサに参加する事は絶対的なものであった。何十キも離れた道を何時間もかけて集まっていた事が想い出される。いかに世の中が便利になり経済的に恵まれる時代になったとは言え、私たちの信仰生活の中心はミサ聖祭であり、ご聖体を拝領する事によってキリストとの一体化が変わってはならないと思う。

聖体の年も後4カ月程で終わるが、この現実を司牧者のみに任せるのではなく、我々信徒の果たすべき役割も大きなものがあるので、聖体の年に限らず、前教皇のご遺志を真摯(しんし)に受け止めて、健全な教会づくりに奉仕していくことが肝要だと思ふ。

「聖体の年」を迎えて

平鍋 麗子 (善きサマリア人修道会修道女)

2004年10月から2005年10月の1年間、故教皇ヨハネ・パウロ2世は「聖体の年」を制定されて以来、大司教さまはじめ小教区の神父さま方のご指導のもとご聖体への信仰を深めるようにすすめられてきました。主イエス・キリストのお体と一致し、そして生かされ、特別なお恵みによって私たちがキリストのように考え、行い、キリストのように人間を愛することです。

小教区俵町教会では2月27日四旬節第3主日に4人の小学生が初聖体を受けました。「聖体の年」にふさわしい初聖体の日のために1年間準備してきました。心から初聖体の日を待ちわびる純粋な心にあふれながら特別な思いで過ごしてきました。

ご聖体はイエス・キリストの真のお体と血であり、ご聖体の秘跡を制定されたキリストの愛を知り、拝領によって霊的食物で養われることを実感して欲しいと思います。神と隣人への愛の行いをするように促されます。聖体を受けた子どもたちがどんな困難の時もキリストのために生きる勇氣と希望、教会共同体を大切にする大人に成長することを心から祈っております。

「聖体の年に・・・」

中井 美季 (純心聖母会修道女)

「聖体の年」を過ごしている今、ご聖体について考え、話し、ご聖体の前で祈ることの大切さをとても感じています。

私にとって毎朝の「ミサ」の中でいただくご聖体は、やっぱり毎日の糧、エネルギーになっています。以前私は、ご聖体そのものであるイエスさまをとても遠い存在として感じていた時期がありました。毎日ご聖体をいただいていたのはいるものの、イエスさまはこんな小さな私の所に来てくださっているのか・・・という思いがありました。

しかし、ふとしたきっかけで、イエスさまがご聖体を通していつも私の心に入ってくださり、いつも私と一緒にいてくださるという思いが込み上げてきました。どんな環境の中にあっても共にいてくださるイエスさま。これ以上に安心な事はありません。毎日私の中に入ってくださるイエスさまに「今日もお守りください」という気持ちで過ごしています。

また、前教皇さまは使徒的書簡「主よ、一緒にお泊りください」の中で、「ミサが終わった時から、福音を広め、宣教者となる義務がある」ということを言われています。一人ひとりがミサによって力を得、イエスさまのことを広める責任を持っていることを再確認した書簡でした。

いつも共にいてくださるイエスさまにご聖体を通して、身近に出会い、生かしてくださる事に感謝しながら、ご聖体の年を過ごしていきたいと思ふ。

教区司祭の黙想会

松浦悟郎大阪大司教区補佐司教を迎えて

6月7日から10日までの4日間にわたって、教区司祭の黙想会が行われ、教区司祭が一堂に会して黙想指導を受けた。

説教師は大阪大司教区の松浦悟郎補佐司教。典礼の松浦の流れに沿って、待降節から復活節までを松浦司教自身が十分に消化した言葉として分かち



説教する松浦悟郎司教

合った。説教は松浦司教自身の司祭召命の道のりから始

まり、光であるキリストを証しするために一人ひとりは光の道筋にとどまって光を反射させ、光の方向を向き続けることが大切と力強く語った。また、「憲法九条」を考



黙想会最終日・感謝式



三ツ山教会FAX番号 095(847)7411 ※電話番号と同じ

最後に高見大司教の講話を受け、身も心もリフレッシュした司祭たちは、それぞれの持ち場できつと力を発揮するだろう。

井持浦儿ルド祭

5月29日井持浦教会(主任・葛島輝義師)に

集まった660人の信者はルルドまで、聖母像とロザリオの列を作った。列には各教会からホスチアの入ったチボリウムを携えた奉納者も伴った。聖母がイエスの最初の聖櫃(ひつ)になられたことを思い起こさせた。

式典の中では「聖体と私」作文コンクール入賞者の表彰も行われた。最優秀賞中学の部1年本村愛子さん(浦頭、小学の



の主持参 教区典礼委員会主催 申込先・7月17日締切、定員60人先着順 TEL095(844)1096

香典返し お礼とご報告 長崎大司教区 ●川口 勉様(香焼) 故ペトロ 川口長右門様 長崎カトリック神学院 ●吉川カズコ様(小ヶ倉) 故ペトロ吉川 宏様 ●山脇謙二様(天神) 故マリア山脇チエ子様 ●長谷崎キエ様(浦上) 故エリザベト 古川オモ様(出津) 右の方から神学生養成などのために、香典返しに代えて、また、故人のご遺志にそってご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

エイズポスター作品募集

◆内容 エイズに関するもの全般
◆サイズ A4～A2判
◆募集方法 ①高校生以下②一般
◆締切 作品裏面に必要事項を明記の上、事務局まで郵送。2005年8月31日(当日消印有効)
◆応募規定 応募作品は自作未発表のものに限ります。応募点数制限なし。作品ごとに氏名・年齢・住所・電話番号・学校名と学年、勤務先、所属している教会があれば教会名、部門(①か②)を記入。カリタスジャパンHIV/AIDSデスク エイズポスター コンテスト実行委員会 エイズポスター コンテスト事務局 〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館 HIV/AIDSデスク (FAX) 03-5632-7920 Eメール hivids@cbcj.catholic.jp
◇発表 2005年9月23日。「カトリック新聞」紙上で発表。入賞者本人に通知。
◇審査 宮原良治司教ほか関係委員

主の平安 カトリック式葬祭・飾付一式 (有) 栄光式典社 代表取締役 ハウロ 西村 勇夫 長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011 24時間営業 FAX(095)843-9896

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付 白蟻防除施工士 大田白蟻研究所 代表者 マリア 大島 睦子 (〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号 長崎 095-822-8436 FAX 095-822-8436

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網 エテルナ・ワコー(株) 代表取締役 ミカエル 溝口 美義 〒858-0926 佐世保市大湊町586 TEL(0956)47-4380

なが さき せき ちょう 石 碑 墓工事 墓分譲 長崎石彫 ヨゼフ 岩永 博明 〒852-8013 長崎市梁川町6-17 岩永ビル ☎(095)862-2469

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売 たつみ産業株式会社 西田商事株式会社 代表取締役 ミカエル 西田 寛己 本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地 TEL (0956) 31-8268

ワールドユースデーケルン大会 長崎から青年18人参加

8月16日〜21日にドイツで開催されるワールドユースデー(WYD)ケルン大会へ、長崎から神学生・志願生・信徒など青年18人の参加が決定、現在青少年委員会を中心に準備がすすめられている。

WYDは、国連が1985年を「世界青年の年」と定めたことを受け、教皇ヨハネ・パウロ2世が前年1984年、「あがないの特別聖年」の閉会ミサで、青年たちにローマへと集うよう呼びかけ

永井隆平和記念・長崎賞に市丸道人氏

丸氏は三浦町教会所属。第1回受賞者は秋月辰一郎氏(元聖フランシスコ病院院長)が選ばれた。

ナイチンゲール記章 受賞者に徳永瑞子教授

スイス・ジュネーブの赤十字国際委員会ナイチンゲール記章選考委員会は、第40回受賞者に長崎大学医学部看護学科教授、長崎如己の会副理事長。

カトリックセンター 運用計画

この7月からカトリックセンターの運営が「宿泊」「会議室(2階)」「レストラン」の各部門を一括運営に切り換え、センター館長が統括するなど運営業務を含め大きく様変わりする。

聖体礼拝と賛美式 ―研修会―

5月22日(日)、聖体の年の「キリストの聖体」の祝日を前に「聖体礼拝と賛美式」の研修会が、さくら里聖家族教会聖堂で行われた。



「いのちの母の贈り物」と題して全国からの応募207点の中から優秀賞に選ばれた。



日本自分史学会主催 「私の物語・日本自分史大賞」 優秀賞 磯道 保子さん

「私は世間の常識からはみ出たような生い立ちで、その上、障害者として生きることにしました。母は娘の将来にどれほど不安を持ちながら育てたことか...」(序文から)400字詰め原稿用紙200枚を超す大作。第1章



講師 和田幹男師

春の聖書講座

6月2日(木)、カトリックセンターで春の公開聖書講座が、大阪教区司祭・和田幹男師を講師に迎え行われた。

教区信徒使徒職 評議会総会

教区信徒使徒職評議会(指導司祭中村満師、井手義美会長)は6月11日、

「ヤーウエは常に契約に忠実で、誠実な方である」と呼び、メシアへの待望、新しい契約への憧れをもって、正しい道に立ち返るようにと呼び続けたことを預言書の代表的な箇所を引用して、約170人の受講者に熱心に説明した。

長崎地区経済問題 評議会連合会総会

5月28日、関係者72人の出席のもと、カトリックセンターで行われた。



建設された教会

タイ国に教会 西田さんの善意で建つ

タイ国の山岳地帯メヘナイ村の教会建設に、長崎市辻町西田ハツエさん(浦上所属)が30万円を寄付し完成した。

した。内容は、送迎・食事・入浴・機能訓練・レクリエーションなどで、介護保険対象外の方も一定の料金で利用できる。事業所を立ち上げた一

平和の歌コンサートに 向けて

被爆後60年、平和への祈りを歌声に託して、「長崎から平和の歌コンサート」in浦上天主堂が8月21日(日)、午後2時



時津教会でCD録音

CD付きクリスマス絵本として発売される「まじあこのほりうた」の録音が、このほど時津教会で行われた。演奏は、ギター・山口修、オルガン・



人、山口陽子さん(滑石教会所属)は、「建物は一一般の民家をそのまま生かしています。大浴場や機能訓練のための機械などはありませんが、人間関係に被爆者の思いをのせ、平和への切なる願いを豊かに表現している。

米国の少年合唱団来崎

6月26日来崎したアメリカ・ペンシルベニアの男子(10〜18歳)聖歌隊(50人)が城山教会で27日夜、浦上教会では28日昼、平和の歌を披露した。聖マリア学院信徒家庭にホームステイ、交流を深め29日長崎を離れた。

ヨハンナ 山下トワ修道女 (お告げのマリア修道会)



4月22日、五島市聖マリア病院で帰天。三井楽町出身。92歳。

マリア 橋本ミサ子修道女 (お告げのマリア修道会)



5月16日、北松浦郡田平町青洲会病院で帰天。田平町出身。81歳。

聖和女子学院高校

コーラス部員らによって「6月のひまわり」の曲が録音された。これは、佐世保市の小6女児同級生殺害事件の被害女児の同級生らが作った曲で、CDは7月1日から全国で販売。問合せ・申込は柴田さんTEL0956(23)4533へ。

初誓願宣立、63年終生誓願宣立。小さき花の会創立の最初の会員として、三井楽修道院の基礎を築き、創立の目的であった教会奉仕、地元の教え方として50年つとめ地域の人々にも親しまれた。晩年は祈りの人として病床で会員を支え、61年の奉獻生活を全うした。忠実に務め、細やかな人柄のシスターは修道会会員、地域の人々に親しまれ愛された。

